

10月保健だより

糸島市立可也小学校
養護教諭 宮野 紘代
令和7年 10月8日

前期が終わりました！ご支援ありがとうございました。

前期が終わりました。4月からの子供たちの成長した姿にうれしく思っています。
今年も猛暑となり、熱中症や体調不良を心配しましたが、ご家庭での健康管理やご支援のおかげで、安全に過ごすことができました。後期も、どうぞよろしくお願いいたします。

目の健康 10月10日は「目の健康」の日

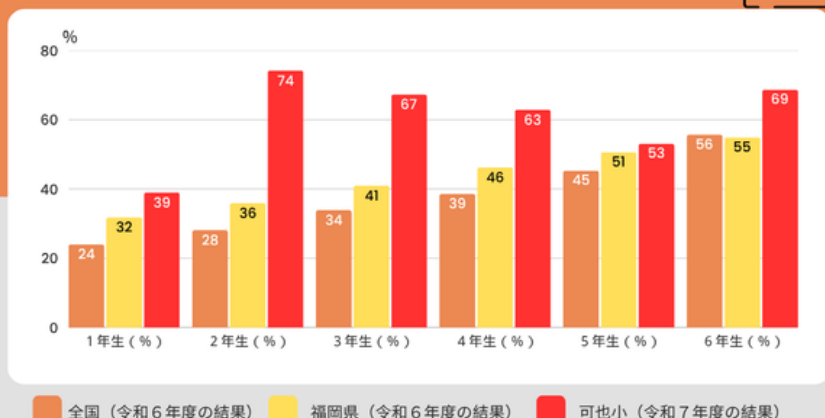
子供の視力低下が全国健康問題となっています。可也小学校の裸眼視力（メガネやコンタクトでの矯正をしていない）で1.0未満の割合は、全国と福岡県の平均よりも全学年高い割合となっています。

学校では、近視による視力低下の予防について、健康診断前にお話しをしました。また、目の健康についての学習も行っていく予定です。

別紙にて、視力低下の予防についての資料をのせています。お読みいただき、ご家庭でも、お子さまの目の健康に留意していただきますようお願いします。



裸眼視力1.0未満の割合



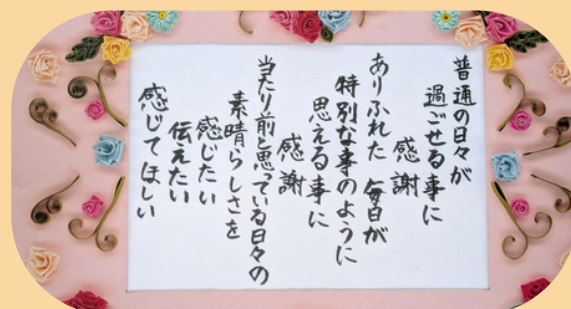
がん教育～生命の尊さ～

6年生では、がん教育を行いました。がんは、日本人の死因第1位で、一生のうちに2人に1人はがんを経験すると言われています。そのため、小学生から「がん」について学ぶことは、子供たちの生涯の健康につながります。

道徳の学習では、「命の大切さ」「病気の人とどう関わっていくか」をテーマに、可也小学校の卒業生で、小児白血病を経験された坂本光優さんをお招きして、講話をしていただきました。

小学2年生の時に病気が分かり、入退院をしながら大変な治療を行ったこと、学校復帰への想いや、周りの友達や家族、学校の先生たちへの感謝を話されました。

子供たちの真剣に話を聞く姿や、感想の手紙から、坂本さんの話が子供たちの心に響いたことが分かりました。



坂本さんが書かれた詩です